

標準物と受渡決済銘柄との交換比率の算出表

$$\text{交換比率} = \frac{\frac{a}{X} \times \left[\left(1 + \frac{X}{2} \right)^b - 1 \right] + 100}{\left(1 + \frac{X}{2} \right)^{\frac{c}{6}} \times 100} - \frac{a \times (6 - d)}{1200}$$

a = 受渡適格銘柄の年利子

b = 受渡適格銘柄の受渡決済以降（当該受渡決済期日を除く）に到来する利払回数

c = 受渡適格銘柄の受渡決済期日における残存期間（月数）

d = 受渡適格銘柄の受渡決済期日から次回利払日までの期間（月数）

X = (i) 0.03（中期国債標準物及び超長期国債標準物）

(ii) 0.06（長期国債標準物）

(注1) 交換比率は、小数点以下第6位まで求め、第7位以下切捨てとする。

(注2) 計算過程において算出される数値は、小数点以下第10位まで求め、第11位以下切捨てとする。

(注3) 初期利払い前の国債証券を受渡決済のために授受する場合において、受渡決済期日における残存期間が、長期国債標準物においては10年を超える銘柄、超長期国債標準物においては20年を超える銘柄の交換比率の算定については、

(i) 上記 $b = b + 1$

(ii) 上記 $d =$ 受渡適格銘柄の受渡決済期日から初期利払日までの期間 $- 6$ （月数）

とする。